

有明海再生加速化対策交付金について

農林水産省

1. 加速化対策の基本的な考え方

1 - 1 基本的な考え方

〔有明海の特徴〕

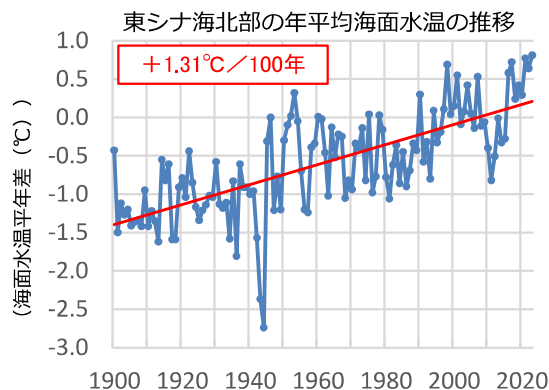


干潟の風景



ノリの収獲

長期的な環境変化



平成29年7月九州北部豪雨



有明海再生に向けた取組の基本的な考え方

- これまでの有明海再生の取組において得られた知見、各県・各漁業団体が構築した4県協調ネットワークを最大限活用しつつ、大規模・集中的に資本を投入し再生を加速。
- 長期的な海域環境等の変化にも適応した水産業を確立する必要があることに留意し、予測外の事態が起こり得ることを前提に、モニタリングを行いながら、その結果に基づき対応を変化させる順応的な方法により、関係者と協働し総合的に取組を進めていく。

〔有明海再生の取組の経緯〕

有明海・八代海等総合調査評価委員会（環境省）

○ 再生の状況を評価。再生目標・方策を検討

〔再生目標（H29委員会報告）〕

- ① 希少な生態系、生物多様性及び生物浄化機能の保全、回復
- ② **二枚貝類の生息環境の保全・回復と持続的な水産資源の確保**

○ 二枚貝類の再生方策、取組の進め方

- ・ 海域間の相互関係を把握したうえで、海域の状況に応じ、**浮遊幼生、着底稚貝を増やし、着底後の生残率を増やす**
- ・ 自然現象の不確実性、有明海域の非定常性を踏まえ、モニタリングを行いながら、**「順応的」に対応を進める**

有明海を取り巻く社会経済情勢等も大きく変化しており、また、気候変動に伴う気温や水温の上昇、豪雨やそれに伴う大規模出水等による影響も顕在化している状況を踏まえつつ、おおむね10年後に目指すべき姿を定めた。

I 二枚貝類の生産性の回復による海域環境の改善

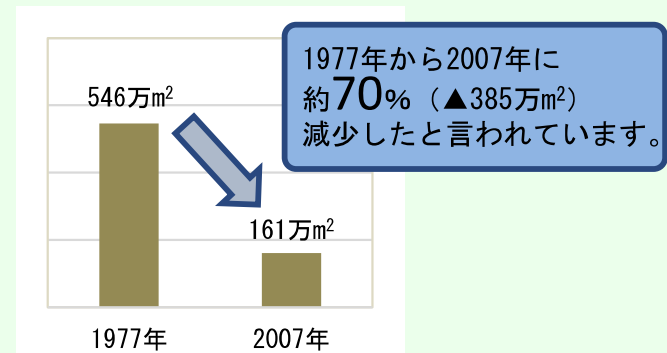
- 植物プランクトンの増殖抑制等の重要な生態系機能を担う、二枚貝類の生産性の回復を通じて、海域環境の改善を図るとともに、適切に資源を管理する。



(網袋の取組)



(移植放流作業)



(有明海湾奥部におけるカキ礁面積の推移)

II 多種多様な水産資源の持続的・安定的確保

- 有明海はノリの国内主要生産地であり、二枚貝類、クルマエビ、ガザミ、エツ等の水産資源の生産地でもある。海域環境改善の取組の進捗に応じて、長期的な環境の変化が水産業に与える影響に対する緩和策・適応策、突発的な災害に対する事前対策・事後対策、資源管理等により、多種多様な水産資源の持続的・安定的な生産を図る。

III 持続的な漁業経営モデルの確立・普及

- 次世代を担う漁業者等が将来にわたって安定的な生活を確保できる所得が得られるよう、漁業環境の変動に柔軟に対応しつつ、収益性の確保と資源管理を両立、漁業経営モデルケースを実践・確立し、その普及により漁業経営の安定を図る。

1 - 3 目指すべき姿を実現するための取組内容

令和6年9月4日
有明海漁場環境改善連絡協議会 資料1より転載

- 有明海の現状と課題を踏まえて設定した、おおむね10年後の目指すべき姿を実現するための具体的な取組メニューについて、これまでの有明海再生の取組の知見、関係者の意見等を踏まえて整理した。

現状・課題

○ 二枚貝の減少や
海域環境の悪化

○ 多種多様な水産
資源の減少（漁
獲量の減少）

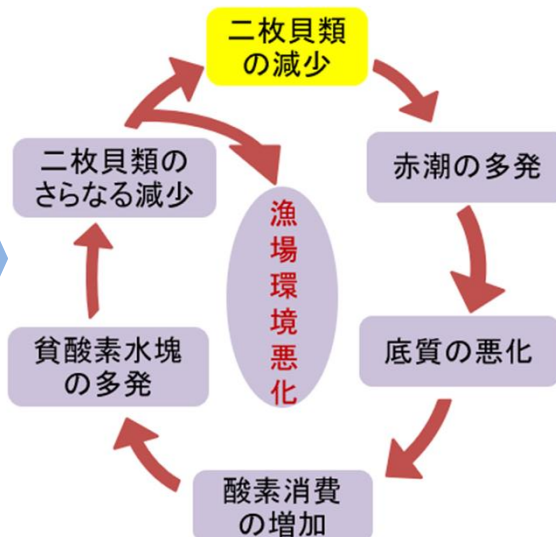
○ 漁業者の高齢
化・減少

取組の整理

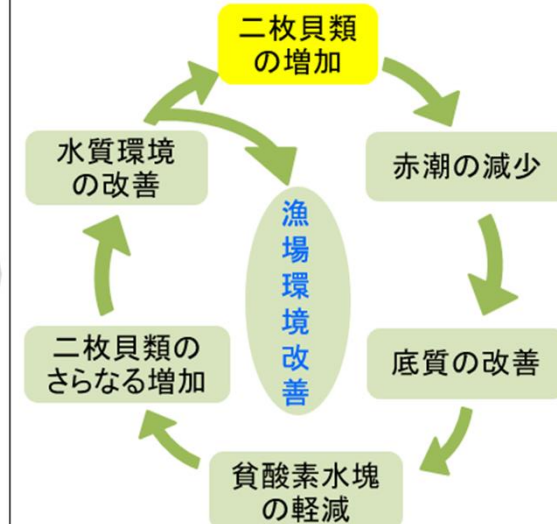
- 二枚貝類を減少から増加に転換させ、漁場環境改善に繋がる好循環を生み出すための取組が重要

「漁場環境改善や水産資源確保の加速化のための取組」を整理

環境悪化スパイラル



環境改善スパイラル



第33回有明海・八代海等総合調査評価委員会の資料と相馬(2006)を参考に整理

- 漁業所得の確保に向けた、漁業生産の省力化や高付加価値化、水産業の効率化等の取組が重要

「漁業者の経営改善のための取組」「新技術導入等による新たな挑戦のための取組」を整理

目指すべき姿

①二枚貝の生産性の回復
による海域環境の改善

②多種多様な水産資源の
持続的・安定的確保

③持続的な漁業経営モデルの
確立・普及

1－4 有明海再生加速化対策の概要

① 漁場環境改善や水産資源回復の加速化のための取組を基礎的な活動とし、その取組による環境や資源の状況に応じて**② 漁業者の経営改善のための取組**、**③ 新技術導入等の新たな挑戦のための取組**を実践していく。

① 漁場環境改善や水産資源確保の加速化

- ・ 二枚貝類の生態系機能を用いた漁場環境改善（赤潮の抑制、底質の改善、貧酸素水塊の軽減等）により、魚類、藻類の生息環境を改善。更なる二枚貝類の生産性が拡大する好循環を生み出し、水産資源確保の取組を加速化
- ・ 取組に当たっては、二枚貝類の大量へい死を招く大規模出水に機動的に対応するとともに、環境や資源の状況をモニタリングしながら、その結果に基づき、取組の内容・量を変化させる順応的な方法により対応する。

〔取組〕 二枚貝類採苗・移植／食害防止対策／早期復旧対応／きめ細かな漁場環境整備／種苗放流

② 漁業者の経営改善

- ・ 次世代を担う漁業者等が安定的な生活が確保されるよう十分な所得を得るとともに、新規就業者が就業しやすい環境をととのえることにより漁村地域の振興を図る。

〔取組〕 全体事業計画の策定／持続的な漁業経営モデルの検討・普及／種苗生産施設等の整備／販路開拓等／人材育成／関係者との協働

③ 新技術導入等の新たな挑戦

- ・ 生産性の向上、漁業者による漁場環境モニタリング、陸上養殖等の新たな技術の導入を図る。

〔取組〕 省力化技術の導入／IoTシステム等の導入／陸上養殖施設等の新技術導入／環境配慮技術等の導入